

平成27年度第1回新居浜市総合教育会議会議録

- 1 開催日時 平成27年5月13日(水) 14:30～15:45
- 2 開催場所 市長応接室
- 3 出席者 新居浜市長 石川勝行、教育長 阿部義澄、教育委員長 長野美和子
教育委員 三木由美子、伊藤嘉秀、宮内文久
事務局
企画部長 寺田政則、教育委員会事務局長 木村和則
総合政策課長 鴻上浩宣、社会教育課長 眞鍋育朗
学校教育課指導主幹 山田浩司、社会教育課 岡部文仁
総合政策課 篠崎大吾
- 4 会議事項 (1) 新居浜市総合教育会議の設置について
(2) 今後の教育施策の方向性について(意見交換等)
(3) 今後の予定について

5 会議録

寺田部長	<p>それでは、ただいまから平成27年度第1回新居浜市総合教育会議を開会いたします。私、企画部長の寺田でございます。本日は第1回目の会議ですので、新居浜市総合教育会議の設置要綱が決定するまでの間、会議の進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>では初めに、石川市長からあいさつをお願いします。</p>
市長	<p>このたび、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、総合教育会議を設置することとなりました。本日は第1回の会議ということで、教育委員の皆様方と、こうして、公の場でお話をさせていただきますこと、大変ありがたく思っております。</p> <p>また、長野委員長をはじめ、教育委員の皆様方には、平素から子供たちの教育の充実発展のために大変ご尽力を賜っておりますこと、この場をお借りしまして心から感謝を申し上げます。</p> <p>この機会をきっかけに今後、より一層、皆様と十分な意思疎通を図り、地域教育の課題やあるべき姿を共有して、子供たちにとって何が必要で、何をしなければならないのかを、今一度、同じ場で一緒になって考え、これまで</p>

	<p>以上に一致して教育施策の執行に当たってまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
寺田部長	<p>それでは続きまして、長野教育委員長からごあいさつをお願いいたします。</p>
長野委員長	<p>日ごろは、新居浜市の教育の推進にご尽力をいただきましてありがとうございます。先ほどごあいさつにもありましたが、第一回目ということで、中身がどうなっていくか期待が深まっているところです。</p> <p>教育にはたくさんの課題がありますし、それに対し、学校現場や教育委員会だけでは対応しきれないという現実は周知しているところであります。新居浜市が、オール新居浜でこの課題に取り組み、子供たちの姿、良い方法を見出していくための会議であると思っておりますので、実のある会議となりますよう、よろしくお願いいたします。</p>
寺田部長	<p>ありがとうございました。それでは会議事項に入ります。まず、会議事項「(1) 新居浜市総合教育会議の設置」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(総合教育会議の設置及び設置要綱案について、資料に基づき説明)</p>
寺田部長	<p>ただいま事務局から新居浜市総合教育会議設置要綱案の説明がありましたが、質疑等はございませんか。</p>
出席者	<p>(質疑なし)</p>
寺田部長	<p>ありがとうございました。それでは、質疑等がございませんでしたので、この会議の運営につきましては、この要綱に基づき進めてまいります。石川市長、進行をよろしくお願いいたします。</p>
市長	<p>では、これより進行を務めさせていただきます。</p> <p>本日二つ目の会議事項であります「(2) 今後の教育施策の方向性」について、始めさせていただきます。今回は、第一回目ということで、まず皆様に、私の教育に関する思い・考えをお伝えさせていただきたいと思っております。</p> <p>私が平成24年11月に市長に就任して以来2年と半年が過ぎようとしており、これまで、「経済の再生」、「コミュニティの再生」、「市役所の</p>

再生」、この「三つの再生」を行政運営の柱に据え、更に平成26年度には「健康都市づくり」、「教育力の向上」の「二つの課題」を新たなテーマとして加え、新居浜市の発展に向けて取り組んでまいりました。

これら3つの再生と2つの課題に取り組むために、今まで以上に多くの知識、幅広い意見や、様々な分野や人との繋がりが必要となりますことから、市民の各界各層からなる「政策懇談会」を設置し、熱心にご審議いただき、様々な提言をいただいておりますが、昨年度は、「教育力の向上」につきましても、いただいた提言に基づいた施策を展開しているところでございます。

その中で感じることは、やはり、まちづくりは人づくりと言われるように、市政を運営する上でも人づくりは大変重要な要素であり、人づくりの根幹をなすものが教育だということです。

行政を動かすものは全て人であり、発展してきた現在の文化、技術、社会も、全て人が作り上げてきたものであります。その今を作り上げてきた「人」を育てつくったのも人であり、新居浜市の将来の発展を担い、そして後世へと繋いでいく人材を育てることは、新居浜市の未来を考えるうえで必要不可欠なものであります。

教育は、良い方向に向けば、良い人材が仕事を生み、良い社会ができると、好循環を生みますが、もし悪い方向、問題が深刻化してしまいますと、多方面に重大な影響を及ぼしてしまう、とても大きな力を持ったものであります。

人は一生を通じて様々なことを学びますが、その中でも、「子供の教育」の時期につきましては、繊細な心で、より多くのことを学び、基礎的な考える力・人として大切な心など「人として」重要なものを身に付けるとても貴重で重要な時期であります。

しかしながら、今の子供を取り巻く環境は、痛ましいニュース等で大きな社会問題として取り上げられているいじめ問題を始め、不登校や学力の低下、教育格差の問題など、環境や問題は複雑化、多様化しております。そのうえ携帯電話やスマートフォン等の普及に伴い、インターネット上から発生する問題等も考えますと、家族や先生方の目の届かない死角の部分も今まで以上に大きくなってきており、問題の把握も難しくなっているのではないかと感じております。

そのような状況下において、新居浜市を担う子供たちの健全な育成を願い、実現するためには、家庭は基本的な生活習慣、豊かな情操、善悪の判断などの基本的な倫理観、自制心や自立心などの基礎的な資質や能力を育成する「しつけの場」、学校はみずから学び、みずから考え、主体的な判断、行

	<p>動ができるよう、組織的、計画的に学習する「学びの場」、地域は学校や家庭で学んだ生きる力を基礎としつつ、さまざまな年齢の人々とかかわっていくことにより生きる力を育てる「育ての場」であることを再認識し、どのような変化があっても変わらない人間として大切なものは何かをしっかりと見定めたいと、今一度、一丸となって子供たちの生きる力を育むための教育力を高めていかなければならないと考えております。</p> <p>以上が、私の思いであります。阿部教育長からも、新居浜市の教育についての思い・考えをお聞かせいただきたいと思っております。</p> <p>私も、新居浜を担うこれからの子供たちの育成ということについて、教育委員会として、新居浜の子供については新居浜市が責任をもって育てていきたいという思いです。先ほど、市長さんからの言葉にもありましたが、学校で学び、家庭でしつけ、地域で育てるということを、更に充実した取り組みにしていきたい。特に、実施に当たっては、「愛情と信頼・深めよう絆」ということをスローガンとして取り組みたいと思っています。</p> <p>現在、新居浜市教育委員会では、お手元の資料にもありますが、新居浜市の子供は、「ふるさとを愛し未来を拓く子」を目標として、あいさつ日本一の新居浜市をつくっていききたい、そして、それを実施するに当たってはユネスコスクールという取組、その中で行われている ESD という考え方を充実させていきたいと思っております。そのためには、「ふるさとを愛し未来を拓く子」ということから、ふるさと学習を充実させ、郷土を知ることから、先人が築いた新居浜市、素晴らしいところ、または改善していくべきところ、先人が残してくれたものを今の子供たちが学び、そしてそれを自分のものとして、次の社会に育って行ってほしい。それらを繋ぐものとして、誰とでも明るく笑顔をもってあいさつができる人間関係を築くことができるあいさつ運動というのを、小中学校の9年間、15歳までの義務教育の期間に新居浜市の子供の基礎基本としてとらえて身に付けさせていきたいと思っております。そういったところでもご協力を賜っていききたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
市長	<p>ありがとうございました。各委員様からも何かご意見、お考え等がありましたらお願いいたします。</p>
長野委員長	<p>地域の子供たち、地域の中で育っているということが、私は長い間教員をしてきましたけれども、自分自身教える中であまりそのようなことを意識せずに指導してきたという反省があります。</p>

	<p>今、新居浜の子供たちが、新居浜のことについて学んでいるということは本当に大事なことで、自分が生まれ、どういったところで育ち、そこから新しい発展があるということを体感してほしいと思います。その時に思うことは、子供たちにたくさんの支援をして育てているのですが、その中で周囲の大人たちのあり方、家庭で、そして学校で大人がどういったかかわり方をするのかを大事にしなければならないと思います。</p> <p>あいさつについても、一生懸命学校で取り組んでいただいておりますが、こういったことをしなくても、当たり前のようにあいさつができるようになるためには、学校や地域、子供たちだけではなく、大人たちがどれだけ取り組むかということが大事になってくると思います。学校教育、社会教育、地域の方々の力の大きさ、大人のあり方というのも、これからの教育の推進のなかでしっかりと柱を立てて、取り組んでいただければと思います。</p>
伊藤委員	<p>私もいろいろな場所で拝見させていただいておりますが、私が体験してきた以上に今の教育環境というのは非常に、学校と地域との連携がうまくいっているところが良いところではないかと思っております。</p> <p>その中で子供たちが生きる力、ふるさとの良さを学習しながら育っていける環境は新居浜市で多くありますので、素晴らしい環境ができていっております。また、学校の先生方に対しては地域の方からの期待が今まで以上に増しておりますので、大変だと思っておりますが応援していきたいと考えております。</p>
宮内委員	<p>市長の総合教育会議を通じて、新居浜市の人づくりに進んでいこうとする姿勢はありがたいと思います。これからもよろしく願いいたします。</p> <p>その中で市長、教育長がおっしゃりました子供の健全な発達が必要であるということは、そのとおりだと思います。非常に教育は重要な領域でありますので、皆さんで頑張っていければと思っております。</p> <p>子供たちの健全な発達には、皆が連携しなくてはならないと思ひまして、その中で新居浜市の取組を考えてみますと、教育委員会の中で公民館も担当するということは、新居浜市ならではの取組だと思っております。教育委員会の中で学校も公民館も通じて担当しているというのは、地域と行政が結び付く有効な考え方だと思いますので、これからも是非、地域と学校がより一つとなれるように、これからもご協力を賜ればと思います。</p>
三木委員	<p>私は新居浜に来て、新居浜の方からいろいろなことを教えていただきました。子供は教育の中で成長し、それと共に、親としての私も成長できたと思</p>

	<p>っております。子供は学校で学び、すぐに大人になります。大人になった時に学校で何を学び体験してきたのが大事になってくるのかと思います。私を教えてくださった方々も、素晴らしい大人として、いろいろな方を教育してくださっています。子供時代に受けた教育がいつまでもいい形で素晴らしい大人になれるような、いろいろな方が尊重し合いながら素晴らしい社会を作っていけるような、教育の環境を私たちで作っていければと思います。</p>
市長	<p>ありがとうございました。今後の新居浜市の教育の方向性として共通しているのは、ふるさと教育の重要性と、地域の人が学校家庭と連携して子供たちの健全な育成を図っていこうということではないかと思います。そのような方向で今後議論を進めさせていただいたらと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>では、これからは具体的な取組についてご議論いただけたらと思います。今回私の方から皆様に、ご意見を伺いたい事項が2点ございます。一つ目は新居浜市の重要課題である「学力の向上」問題への取組についてです。小中学校の学力の現状分析を踏まえ、新居浜市の「学力の向上」には何が必要なのかを把握し、具体的な数値目標を設定した取組ができないものかということであります。二つ目は、公民館の機能についてでございます。今までは社会教育を中心に行ってきたのが現状ですが、これからは社会教育のみならず、まちづくり拠点への広がりや介護予防コーディネート等の機能も含めた、「地域の活性化の拠点」、「地域の教育力の向上」の拠点となる役割を担うために新たに何かできることがないものかということであります。この2点に関しまして、ご議論いただけたらと思います。</p> <p>そこでまず、小中学生の学力の向上と公民館の現状等について事務局から説明させていただいて、その後に皆様からご意見をいただけたらと思います。</p>
阿部教育長	<p>学力の向上については、平成25年度から学力向上推進委員会を設置し、取り組んでいますので、事務局の方から説明させていただきたいと思えます。</p>
事務局	<p>学力向上についての説明をいたします。</p> <p>学力向上につきまして、現状とこれまでの取組等につきまして説明させていただきます。</p> <p>平成25年度から全ての小・中学校において、「新居浜市標準学力調査」及び「Q-U調査」を実施し、望ましい学級集団、互いに学び合う学習集団づ</p>

くりを行うとともに、児童生徒への個別の支援の充実を図ることによって、全市的な確かな学力の定着と向上を目指しております。

また、「新居浜市標準学力調査」の結果をもとに円滑かつ効果的な学力向上に係る検証改善を行い、学校への支援を行うことを目的として、学力向上推進委員会を設置しています。

学力向上推進委員会には、授業力向上委員会・学習環境委員会・個別支援委員会の3つの実践活動部会を設け、資料2ページにありますような構成メンバーで、実践活動に取り組んでいます。今年度から、指導主幹が2名増えましたので、各実践活動部会の事務局として各2名を配置しています。

A3の折り込み資料をご覧ください。1枚目が昨年度の新居浜市学力向上推進委員会の取組を示しております。主な取組といたしましては、授業力向上委員会では、新居浜市標準学力調査及び全国学力・学習状況調査の結果分析をもとにした努力事項の実践と検証を行いました。学習環境委員会では、2回におよぶQ-U調査をもとに、よりよい集団づくりの研修と実践を積み重ねました。個別支援委員会は、ユニバーサルデザインの授業の徹底、特別支援教育ハンドブックの活用を主な活動として取り組みました。

次にA3、2枚目の資料をご覧ください。本年度の計画表でございます。大きな流れを提示させていただいておりますが、昨日実施されました新居浜市学力向上推進委員会実践活動部会で、この計画表に基づき本年度の各部会の活動計画案を作成いたしました。取組の概要は、昨年度の取組を継承いたしますが、本年度は、各学年ごとに次年度の新居浜市標準学力調査における対全国比の目標を数値化して取り組んでいきたいと考えております。また、3つの実践活動部会の横の連携にも力を入れていきたいと考えております。5ページから7ページは、昨年度の全国学力・学習状況調査の結果及び分析です。平成26年4月22日に小学校6年生と中学校3年生を対象に実施いたしました。

小学校では、国語Aは、各項目において全国平均と同じかやや下回っていましたが、国語Bでは、各項目において全国平均と同じかやや上回っており、全体的には、全国平均とほぼ同じかやや上回っている状況でした。特に、「関心・意欲・態度」の項目は、良好な結果です。しかし、算数Aは、各項目において全国平均とほぼ同じかやや下回っており、算数Bにおいても、全国平均を下回っていました。特に「量と測定の学習」の項目は、算数A・Bともに大きく下回っており、課題となっています。一昨年度小学校におきましては、調査開始以来初めて、全国平均を上回ることができましたが、残念ながら、昨年度は大きく後退しました。

中学校では、国語A、国語Bともに、全ての項目において、全国平均と同

じかやや上回っています。課題であった「書く能力」「読む能力」は、伸びてきています。また、数学A、数学Bともに、全ての項目において、全国平均を上回っています。特に、「数と式」や「資料の活用（統計）」「問題解決の考え方」が良好でした。2教科の総合としては、全国水準以上であり、これまでの全国学力・学習状況調査の中では、最も高い結果を残すことができました。

次に、8、9ページをご覧ください。昨年度の新居浜市標準学力調査の結果及び分析です。平成26年4月15、16日に小学校4年生以上の全児童・生徒を対象に実施しました。資料には、各学年ごとの分析を載せております。小学校の国語・算数・社会は、全国平均とほぼじかやや下回っている状況ですが、理科は全国平均を下回っています。

中学校では、数学・理科・英語は、全国平均を上回っており、国語・社会も全国水準と同等または同等以上でした。

全体的には、どの学年も無回答率が大きく減少し、書くことに対する抵抗感が薄らいできていますし、同一集団の経年比較をみてみますと、全体的には、偏差値スコアが、1ポイント前後、教科によっては2ポイント以上の向上が見られました。

また、小学校6年生で、全国学力・学習状況調査を受けた子供が3年後にどうなっているかを追跡調査してみますと、全国平均との差が約7ポイント～10ポイント上昇する傾向が続いておりますので、小学校段階での学力の底上げ、そして、中学校での更なる上乘せが重要と感じております。

次に、公民館の現状について説明いたします。

公民館につきましては、地域主導型公民館として、平成20年度の4館をかわきりに、平成23年度に移行を完了しております。現在、公民館運営につきましては、地域の主体性を尊重し、各公民館で地域の特性に応じた事業を展開し、地域づくりや地域課題の解決に向けた取組をしております。

主な公民館事業については、地域で学校を支援する事業として、実施しております子ども見守り隊、本の読み聞かせ、学校の環境美化などの学校支援地域本部事業を14校区で実施しております。

次に、地域で子供の受入れ、子供の居場所づくりを行う事業として放課後子ども教室を、8校区と教育会（先生OB）による「土曜寺子屋」の9か所で実施しております。

次に、地域の活性化を図るための事業として、まちづくり等の様々な講座の開催、地域行事の実施、そして、地域課題の解決を図るために防災、子育て支援、食育等の事業を地域教育力向上プロジェクト推進事業として全校区

	<p>で取り組んでおります。</p> <p>次に、地域コミュニティ再生支援事業は、防災、地域振興、介護予防のテーマにつきまして、実施しており、仕上げの年度として8公民館で実施する予定でございます。</p> <p>このように、公民館は、地域主導型公民館として地域づくり事業、問題解決型事業などを通して、新しい公民館を創造する取組を行っております。</p> <p>また、今年度4月1日から、大島公民館を廃止し、大島交流センターを設置しており、社会教育法の枠にとらわれない活用ができるものとしております。</p> <p>以上、公民館の現状についてでございます</p>
市長	<p>では、今説明がありました、それぞれに関しまして、ご意見がありましたらお願いいたします。</p>
阿部教育長	<p>学力の向上についてですが、保護者が子供の学力をどういうふうにとらえ方をするのか、テストの点で見る場合と、通知表で見る場合があります。</p> <p>通知表につきまして新居浜市では絶対評価というとらえ方が中心でしたが、保護者から子供の学力を客観的に知りたい、今の通知表では分かりにくいという意見をいただきまして、平成26年度から学力向上推進委員会で分かりやすい通知表を検討し、今年度の1学期から数的な形の通知表に替え、より子供の実態を把握しやすいようなものを目指そうという話し合いがなされました。</p> <p>また、先ほど事務局から説明がありましたように、新居浜市の子供たちの傾向をみますと、高校進学を意識すると意欲が上がるのではないかという思いはあります。</p> <p>では、その学年がどのように伸びていくのかを、数値化等で目に見えるような形で表せないかということで、学力向上推進委員会でも話し合いました。近いうちに学力について数値化したものができると思いますので、そういったものを各取組に生かしていけるのではと思います。</p>
三木委員	<p>学力に関しまして、もちろんテストで良い点が取れるということは大切だと思いますが、それをどう理解しているのか、また、学力は遊びの中等での体験を基に学んでいくことも多いが、今の子供たちの学び方や体験の仕方も昔とは変わってきているので、そういったものを子供の学力や生きる力に結び付けるような取組がされていくと、効果が上がるのではないかと思います。</p>

<p>長野委員長</p>	<p>学力について、高学年になると、低学年時期の学力低下の取戻しは難しいと聞きます。目標の数値化に関しても、平均ではなく、子供全体の底上げが必要と思います。できる子供の学力を伸ばすだけでは格差ができてしまうため、学力が低い子供たちにも支援が届くようにしていただけたらと思います。</p> <p>また、家庭学習については、家庭環境がとても影響するため、家庭にも目を向けて支援も何か考えていかなければ、問題の解決は難しいのではないかと思います。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>学力の数値化につきまして、少し違った視点で見ますと、先生の教える力を数値化で表せないかと思いました。学力の底上げには、やはり授業が大切でありまして、教える力が弱いと気づいたら、先生方もスピーディーな研修で補うなどの、先生の教える力を高めるための仕組みづくりが大切ではないかと感じます。先生方にも組織的な支援を行うことで、全体の学力の向上に繋がるのではと思いました。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>私も伊藤委員のおっしゃった様な、先生方の学びも今以上に何か取り入れ、新居浜市の教育が優れたものであるためには、先生方に光り輝いてほしいと思います。</p> <p>もう一つは、学び合うことが大切だと思ひまして、学校では横との学びが主ですが、公民館での縦の学びも取り入れ、横と縦の学びを組み合わせる何かできることはないか考えたいと思ひました。</p>
<p>長野委員長</p>	<p>私自身、先生の意識改革が一番肝心だと思います。先生方も従来の考えにとらわれず、新しいことにも柔軟な対応ができる意識改革が必要であると考えます。また、先生方の教育力に関しましては、数値だけで判断してしまうと、数字にとらわれた教育になってしまい、それは大きなマイナスになるかと思ひます。</p> <p>また、自分自身を改革していく教師を作っていくには、管理職の先生の考え方もとても影響します。いろいろな問題を抱え、大変ではありますが、校長先生、教頭先生には頑張ってくださいと思います。</p> <p>先生方も努力していただいておりますが、やはり結果も求められますので、ご苦労様ですが、さらに励んでいただきたいと思います。</p>

<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>皆さんからお聞きしました、家庭教育の充実、先生の能力アップ・意識改革、あるいは体験に基づく学習等、いろいろと貴重なご意見を今後参考にさせていただきます。</p> <p>数値化については、私たちの取組による成果を、皆さんに目に見える形で表したいと思い付いた一つの方法でありますので、それ以外の方法もあれば取り入れたいと思います。</p> <p>次に、公民館について、何かご意見等はありませんか。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>公民館での行事にご協力いただいている方が、偏ってしまっているということがあり、新たに提案するのは恐縮ではありますが、私も子供の家庭環境は教育にとっても影響すると思っており、様々な家庭環境がありますが、家庭の穴埋めをできるのは、やはり地域ではないかと思えます。その中心になっていただきたいのが公民館ではないかと思えます。</p> <p>特に考えているのが、子供が放課後に一人にならない地域づくり、公民館を活用し、学習や遊びを通して教育できる集会所づくりがこれから大切ではないかと思えます。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>私の意見ですが、これから先、学校の空き教室が増えてくると思えます。その空き教室を公民館にできないかということでもあります。学校と公民館を一体化することによって、おのずと学校に様々な人が集うことができ、いじめの問題等も防げることができるのではないかと思えます。そのような、学校と公民館を一体とした運用を考えていただけたらと思えます。</p>
<p>三木委員</p>	<p>宮内委員の意見は良いと思えます。後は、協力いただいている方だけに負担が偏っている場合は、その負担の軽減策がないものか考えていかなければと思っています。</p>
<p>長野委員長</p>	<p>先生方も公民館とかかわり、地域の方とかかわりを深めるという機会をつくっていくということも大事だと思います。先生方も地元に戻れば、その地域の住人ではありますが、赴任先でもその地域の方とかかわっていくという、先生方の地域住民としての意識も重要になっていくのではないかと思います。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>公民館との繋がりとして新居浜市が行っておりますのに、学校支援地域本</p>

	<p>部事業というものがあり、地域の方がボランティアでいろいろと学びについての取組を行ってもらえないかと考えておりますが、やはり問題になるのは人材不足です。人を教えるということになると、二の足を踏む人も多く、これからは、そういった大人の意識改革というものを教育委員会としては取り組んでいかなければならないのではと考えております。</p> <p>また、空き教室の利用については、公民館にするということも一つのアイデアですが、学校支援地域本部を学校の中に設置し、子供に何が必要であるのか、そして地域にどのような人材がおられるのか、それを結び付けるために地域と学校の生徒を結ぶコーディネーターを置くことで、学校と地域のかかわりも深くなるのではないかと考えております。</p>
市長	<p>公民館についても貴重な意見ありがとうございました。</p> <p>私も、委員の皆様がおっしゃられましたとおり、一部の方に負担が偏らないようにしなければと思います。</p> <p>また、公民館には教育に関してはもちろんのことですが、まちづくりの拠点ともなってもらいたいという思いもありますので、そういったことについても議論をしていきたいと思っております。</p> <p>そして、学校の空き教室の件に関しましては、私も賛成ですので今後考えていきたいと思っております。</p> <p>皆様から貴重なご意見をいただきましたので、これからの議論の中に生かさせていただいたらと思っております</p> <p>それでは三つ目の議題であります「(3) 今後の予定」についてでございます。</p> <p>まず、この総合教育会議において、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の「大綱」を策定する必要がございます。</p> <p>また、本年度は新居浜市の最上位計画であります「第五次新居浜市長期総合計画」の中間見直しの時期でもあります。長期総合計画は、市政の総合的かつ長期的な指針であり、計画のなかには「教育文化に関する施策の大綱」も示しておりますので、長期総合計画の中間見直しとの整合性も図りながら、「大綱(案)」を策定し、総合教育会議にお諮りしたいと考えております。なお、具体的な見直しのスケジュールや「大綱(案)」の協議予定等につきまして、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは資料4をご覧ください。</p> <p>まず、新居浜市長期総合計画の見直しにつきましては、本計画は平成23年から32年までの10年間を計画期間としており、中間年の平成27年度</p>

<p>市長</p>	<p>に基本計画について見直しを行い、平成28年度から32年度までの後期5か年の実施計画を策定するものです。</p> <p>長期総合計画の見直し案につきましては、本年11月を目途に取りまとめを行う予定でございますので、総合教育会議において策定する教育に関する「大綱（案）」についても、同時期、11月までに取りまとめを行ったうえで、本会議においてご協議をお願いする予定にいたしております。</p> <p>従いまして、「大綱（案）」をご協議いただく次回の会議につきましては、11月以降の開催を予定しております。なお、具体的な日時につきましては、時期がまいりましたら、改めてご連絡いたします。</p> <p>以上で、本日の会議事項は終わります。次回は教育に関する大綱案についてご協議をさせていただくということで、進めさせていただいたと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は貴重なご時間をありがとうございました。</p>
-----------	--